

# 令和3年度 公益財団法人宮崎県国際交流協会事業実績報告書

本協会の事業計画に基づき、県民の参加による国際交流の推進、国際交流に関する情報の提供、外国人住民の支援及び国際化推進のための事業等を次のとおり実施した。

## 1 交流推進事業

### ① 国際交流サロン

カリーノ宮崎の会議室等を活用して、県民と外国人が気軽に交流できる場を提供した。

<国際ふれあいチャット>

県民と外国人が外国語で歓談する交流会を開催した。

場所：カリーノ宮崎地下1階

英語（初級）

前期 6/12 ～ 9/4（隔週土曜） 全5回、延べ 27名参加

※緊急事態宣言発令に伴い、8/7は中止。8/21、9/4はオンラインで実施。

後期 10/ 2 ～ 12/25（隔週土曜） 全6回、延べ 32名参加

英語（中・上級）

前期 6/19 ～ 8/28（隔週土曜） 全6回、延べ 31名参加

※緊急事態宣言に伴い、8/14、8/28はオンラインで実施。

後期 10/ 9 ～ 1/15（隔週土曜） 全6回、延べ 38名参加

韓国語

前期 6/ 3 ～ 8/ 5（隔週木曜） 全6回、延べ 23名参加

後期 10/14 ～ 12/23（隔週木曜） 全6回、延べ 28名参加

中国語

前期 6/ 8 ～ 7/20（火曜） 全6回、延べ 25名参加

後期 10/ 5 ～ 11/16（火曜） 全6回、延べ 20名参加

<日本伝統文化体験講座（外国人向け講座）>

「生け花in古民家」 開催日：10/23（土）11名参加

場 所：宮崎県総合博物館民家園

## ② 国際交流ボランティア養成・運営

通訳、ホストファミリー、日本語ボランティア、外国人災害サポートボランティアの4つの分野でボランティア登録を行い、ボランティア登録者の活動を促進するとともに、資質向上のための研修会等を開催した。

## ③ 国際交流展示

外国人住民が作成した絵画や写真等の展示や、外国人住民と日本人住民が交流するイベントを行った。

(来場者数 213名)

<「外国人が見た宮崎」作品展>

開催日：11/17（水）～12/4（土）

場 所：カリーノ宮崎地下1階

内 容：本県に住む外国人の方々が感じた宮崎の印象・想いを絵画・写真・書道などで表現した作品を集めた展示会を開催した。

(作品数：53点、19カ国地域)

(来場者数 467名)

<世界とトモダチ みやざき国際フェスタ>

開催日：12/5（日）

場 所：県企業局 県電ホール

内 容：(1) 国際理解講座 ベトナム編 「ベトナムのお正月」

(2) 展示 (ブース)

①世界の国ブース (6カ国)

②宮崎ブラジル親善協会ブース・宮崎市協会、清武町協会ブース

③JICAブース

④日本伝統文化体験ブース (風呂敷包み)

(3) ステージイベント

①コロンビアの踊り

②二胡の演奏

③世界の太鼓をたたこう

## 2 情報提供事業

### ① インターネット・広報紙等による情報提供

情報誌「国際プラザニュース」発行 毎月（4,000部／1回）  
（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語）

協会誌「South Wind」発行 年2回（2,700部／1回）

協会ホームページによる情報提供等

協会ホームページへのアクセス件数（25,063件）

外国語による生活情報提供

「Living in Miyazaki（宮崎の暮らし）」を英語で宮崎日日新聞に月1回、  
季節ごとに身近な話題をとりあげて掲載。

（例）風水害の備え、熱中症、お正月 など

### ② ワーキングホリデー説明会

ワーキングホリデーに関する手続きや体験談を交えた説明会を開催した。

開催日：7/31(土) (10名参加)

場 所：カリーノ宮崎地下1階会議室

### ③ 国際プラザ運営事業

国際プラザにおいて、県民ボランティアを活用しながら、外国人や県民に各種生活情報の提供、専門機関の紹介、図書の貸出等を行った。

《令和3年度国際交流協会利用者実績》  
7,625人（うち外国人 1,944人）

《国際プラザ利用者数》  
2,881人（うち外国人 921人）

《図書貸し出し数》  
267件（うち外国人 42件）

《相談件数》  
302件（うち外国人 29件）

### 3 外国人住民支援事業

#### ① 多文化共生社会推進事業

＜自治体職員向け外国人支援のための防災講座・意見交換会＞

県内の自治体職員等を対象に、行政に求められる外国人のための防災や災害時における外国人支援等に関する講座を開催した。

開催日：10/7（木） 17名参加

場 所：オンラインで開催（Zoom使用）

＜外国人住民支援講座＞

自治体職員等を対象に、外国人向けの情報発信の方法をテーマとして講座を開催した。

開催日：2/10（木） 18名参加

場 所：オンラインで開催（Zoom使用）

＜外国住民のための防災セミナー＞

外国人留学生等を対象に、地震や津波についての講話のほか、災害時の知識とその対応について学ぶセミナーを開催した。

ア：宮崎市

開催日：9/25 延期 1/29 中止

イ：小林市

開催日：12/4（土） 25名（外国人6名）

＜外国人災害サポートボランティア養成講座＞

災害時の外国人支援について、ボランティアに求められる知識や心がまえ、やさしい日本語の活用について学ぶ講座を実施した。

開催日：8/28（土） 17名参加

場 所：オンラインで開催（Zoom使用）

## ② 外国人住民等相談窓口運営事業

<みやざき外国人サポートセンターの運営>

外国人住民等からの生活・就労等に関する相談を対面又は電話、メール等で受け付け、適切な情報提供及び関係機関への取次ぎを行った。

受付時間：火曜日～土曜日 午前10：00～午後7：00

相談件数 264件

<出張相談会>

外国人住民等に対する出張相談会を開催し、窓口への来所が難しい外国人住民等に対面での相談対応を行った。

ア 延岡市

日時：2/19（土）

場所：延岡市役所 なんでも総合相談センター内

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止

イ 都城市

日時：3/3（木）

場所：未来創造ステーション

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止

ウ 都城市

日時：3/19（土）

場所：未来創造ステーション

相談：0件

<外国人住民法律・生活相談事業>

- ・外国人住民の相談に母国語で対応できる相談員を配置

6カ国語で対応。

（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）

相談件数：11件

- ・法律生活相談の募集（弁護士・行政書士による相談対応）

相談件数：2件

<関係機関との連携>

相談事例の収集・共有・蓄積を目的として、宮崎大学国際連携センターへ相談員の派遣を行った。

日時：12/9～1/12

相談：17件

<外国人住民等への情報提供>

- ・生活情報冊子の増刷 3,000部（日本語1,000部、ベトナム語2,000部）

- ・防災パンフレット改訂用紙作成 5言語

（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語）

- ・ホームページ、フェイスブックによる情報提供

<関係機関を交えた連絡会議>

開催日 3/17 (木)

場 所 カリーノ宮崎地下1階 会議室

出席者 10名

### ③ 地域日本語教育体制整備事業

#### i 日本語教育体制の構築

##### <総括コーディネーターの配置>

本事業の総括を行うコーディネーターを配置した。

(公財) 宮崎県国際交流協会 小原 幸恵

##### <地域日本語教育コーディネーターの配置>

地域や外国人の実態・特性を把握し、ニーズに応じた日本語教育プログラムの企画・調整を行う地域日本語教育コーディネーターを県内4地域(県北・県央・県南・県西)にそれぞれ配置した。配置状況は次のとおり。

県北：原田真理

県央：清水志穂

県南：吉元愛美

県西：荒井圭美

外国人住民が多い市町村を地域日本語教育コーディネーターが訪問し詳細な意見等を聴取するとともに、日本語教室実施に向けた協力依頼、地域別意見交換会への参加要請等を行った。

##### <有識者>

当事業への助言等を行う有識者として、次の6名に委嘱。

伊藤 健一 (宮崎大学国際連携センター 准教授)

高柳 香代 (多文化共生ネット・九州 主宰)

大庭 みづほ (日本語教師)

日高 光子 (日本語教師)

田中 利砂子 (南九州短期大学国際教養学科講師)

山中 鉄斎 (宮崎情報ビジネス医療専門学校国際部 部長)

##### <総合調整会議等の開催>

###### ・事業推進会議の開催

当事業の実施方針等の検討のため、宮崎県、有識者、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、宮崎県国際交流協会で構成される会議を実施。

日 程：12/14 (火)

場 所：県防災庁舎 54号室

出席者：11名

###### ・総合調整会議の開催

地域や外国人の実態・特性を踏まえた日本語教育の推進施策について協議を行う場として宮崎県、各市町村、有識者、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、宮崎県国際交流協会で構成される会議を実施。事業の目的や進捗状況の説明のほか、今後の事業展開に関する意見交換等を行った。

**【第1回】**

日 程：6/4（金）  
場 所：オンラインで開催（Zoom使用）  
出席者：45名

**【第2回】**

日 程：3/1（火）  
場 所：オンラインで開催（Zoom使用）  
出席者：29名

＜地域別意見交換会の開催＞

地域における外国人の実態・特性や日本語教育のニーズの把握や当事業への市町村からの要望等の聞き取り、今後の当事業実施への理解・協力の要請等を目的に、県内4地域で意見交換会を実施した。出席者は市町村担当者、有識者、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター（地域ごとにそれぞれの担当者）、宮崎県国際交流協会。実施状況は次のとおり。

県北：1/11（火）  
オンラインで開催（Zoom使用）  
出席者12名

県央：1/6（水）  
オンラインで開催（Zoom使用）  
出席者18名

県南：1/12（水）  
オンラインで開催（Zoom使用）  
出席者12名

県西：1/7（金）  
オンラインで開催（Zoom使用）  
出席者11名

＜日本語教育の先進地視察＞

今後の日本語教育体制づくりの参考とするため、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、宮崎県国際交流協会職員で、長野県で取り組まれている事業や活動内容について聴取し、意見交換を行った。

日 程：2/7（月）  
出席者：14名（長野県6名、宮崎県8名）

ii 日本語教育の実施

＜日本語講座の開催＞

外国人のニーズを踏まえ時間帯を設定したうえで、習熟度にあわせた日本語講座を開催した。

ア 対面（テキストを使用した講座形式で実施）

○カリーノ宮崎地下1階（午前）

初級1（前期）：7/1～10/26 全25回 学習者3名 延べ50名

初級1（後期）：11/2～2/10 全25回 学習者6名 延べ94名

初級2（前期）：7/1～10/26 全25回 学習者4名 延べ57名

初級2（後期）：11/2～2/10 全25回 学習者5名 延べ49名

○宮崎大学

初級1：10/12～1/18 全25回 学習者7名 延べ110名参加

イ オンライン（それぞれ下記回数のほかオリエンテーションを1回実施）

初級1（前期・午前）：4/19～7/19 全25回 学習者5名 延べ72名

初級1（後期・午前）：9/3～12/3 全25回 学習者4名 延べ52名

初級2（前期・午前）：4/16～7/14 全25回 学習者3名 延べ75名

初級2（後期・午前）：9/6～12/6 全25回 学習者6名 延べ94名

初級2（前期・夜間）：4/20～7/27 全25回 学習者5名 延べ99名

初級3（前期・午前）：4/16～8/20 全35回 学習者5名 延べ150名

初級3（後期・夜間）：9/14～12/14 全25回 学習者3名 延べ37名

初中級・会話（日曜日・午前）

：10/3～2/13 全10回 学習者4名 延べ32名

<地域日本語教室の開催>

地域コーディネーターが各地域の実情を把握した上で、平日あるいは週末、昼間あるいは夜間など時間帯の設定、習熟度に合わせたカリキュラムの作成を行い、地域や外国人のニーズを踏まえた日本語教室を開催した。

ア 県央地区

日時：①10/24（日） ②11/21（日）

場所：①新富町総合交流センター ②川南町トロントロンドーム

参加者：①20名（外国人13名 日本人7名）

②39名（外国人26名 日本人13名）

内容：①防災情報・筆ペン体験・図書館の利用方法

②図書館の利用方法・町歩きクイズラリー

イ 県南地区

日程：①10/17（日） ②12/5（日） ③1/16（日）※④2/27は中止

場所：①日南市小村記念館 ②・③日南市創客創人センター

参加者：①12名（外国人6名 日本人6名）

②7名（外国人3名 日本人4名）

③11名（外国人6名 日本人5名）

内容：①生活マップ等 ②防災情報等 ③電話のかけ方等

ウ 県西地区

日程：①9/28（火） ②11/13（土）※③2/27は中止。

場所：①オンライン ②三股町 co-making space

参加者：①18名（外国人 9名 日本人 9名）  
② 9名（外国人 4名 日本人 5名）  
内 容：①食べ物を買に行く ②病院へ行く

#### エ 県北地区

日 程：①11/ 7（日） ※②2/20（日）は中止  
場 所：①日向市駅通り公民館  
参加者：①31名（外国人24名 日本人7名）  
内 容：①自己紹介、地元紹介等

#### <日本語学習支援者向け講座>

外国人の日本語学習の支援者を対象に、能力向上を目的とした講座を開催した。

##### 【入門編】

###### ・オンライン

開催日： 5/15～ 6/26（全7回）受講者21名 延べ132名参加

###### ・川南町

開催日： 7/ 3～ 8/28（全7回）受講者9名 延べ 52名参加

場 所：川南町中央地区コミュニティセンター

川南町西地区コミュニティセンター

※第6回、7回についてはオンライン

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

###### ・三股町

開催日： 10/30～12/11（全7回）受講者7名 延べ 53名参加

場 所：三股町まち・ひと・しごと情報交流センター

##### 【スキルアップ編】

###### ・日向市

開催日： 9/ 4～10/ 9（全5回）受講者11名 延べ 51名参加

場 所：オンライン（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

###### ・日南市

開催日： 12/18～ 1/22（全5回）受講者7名 延べ 34名参加

場 所：日南市生涯学習センター まなびピア

※第5回についてはオンライン

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

#### <日本語れんしゅう会の開催>

県内で生活する外国人を対象とし、日本語ボランティアが各参加者（外国人住民）の日本語のレベルや希望する学習内容に応じ、マンツーマン方式での日本語の指導を行う。

開催場所：宮崎市 カリーノ宮崎地下1階会議室

開催日時：毎週水・金（10:30～11:30）

開催実績：66回・23名（学習者15名 日本語ボランティア 8名）延べ475名

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため休止期間（5/7～5/28、8/7～9/29）

<オンライン学習の周知・啓発>

本事業による日本語教室等以外でも外国人住民が自ら学習できるよう、文化庁のオンライン教材「つながる ひろがる にほんごでのくらし」について、日本語教室におけるリーフレットの配布や動画の視聴、協会ホームページ上での広報等により周知・啓発を行った。

<日本語スピーチコンテストの開催>

県内で生活する外国人（留学生を含む。）が日本語学習の成果を確認するとともに、それを聞く全ての人たちに新たな視点を与え、違いを知る好機として相互理解を図ることを目的に、日本語のスピーチコンテストを開催した。

令和3年度は、みやざき国際フェスタと同時開催した。

開催日時：12月5日（日）

開催場所：県企業局1階 県電ホール

発表者：学生の部3名 一般の部5名 計8名

## 4 国際化推進事業

### ① 国際化推進助成事業

国際交流団体の支援（補助団体 1 団体、100千円）

- ・ GaDo-GaDo 100千円

### ② 国際理解・開発教育支援事業

< 県民向け国際理解講座 >

県民の国際化を図るため、本県のホストタウン登録国や県民にまだまだあまり知られていない国への理解及び交流を促進するため、その国の生活・文化等を紹介する国際理解講座を実施した。

ア ホストタウン登録国編「ホストタウンを知ろう イギリス、ドイツ、イタリア、カナダ」

開催場所：KITENビル8階 中会議室

日 時：令和3年7月17日（土）14:00～16:00

参加者数：25名

イ バングラディッシュ編「日本とバングラディッシュの友情」

開催場所：カリーノ地下1階 会議室

日 時：令和3年12月11日（土）14:00～16:00

参加人数：12名（うち外国人2名）

ウ モロッコ編「五感で感じるモロッコ」

開催場所：宮崎市青少年プラザ3階 調理室

日 時：令和4年1月15日（土）10:00～13:00

参加人数：8名（うち外国人2名）

エ シンガポール編「スカイが知らせたいシンガポール」

開催場所：カリーノ地下1階 会議室

日 時：令和4年1月29日（土）14:00～16:00

参加人数：7名

オ ミャンマー編「ミャンマーってどんな国？」

開催場所：カリーノ地下1階 会議室・オンライン

日 時：令和4年2月19日（土）14:00～16:00

参加人数：（対面）7名・（オンライン）14名（うち外国人2名）

< 東京2020事前合宿等交流 >

東京オリンピック・パラリンピックに向け、ホストタウン登録国（イギリス、ドイツ、イタリア、カナダ）のチーム・選手に向けた応援動画を作成し、ホームページ等に掲載するとともに、DVD及びブルーレイを制作し市町村や応援メッセージに協力していただいた学校や幼稚園等へ配布した。（150枚）

<多文化共生アドバイザー派遣>

地域で開催する多文化共生社会づくり、異文化理解等を目的とした学習会に多文化共生アドバイザーを派遣した。

派遣数：10件

派遣先：幼稚園2件、小学校2件、高校1件、その他5件  
(講座参加者数：計569名)

<国際理解教育（講座）支援>

- ・ワールドボックスの貸し出し（6件）
- ・国旗の貸し出し（0件）

## 5 その他

### **公益財団法人宮崎県国際交流協会の管理運営**

- ・県委託事業管理
- ・宮崎ブラジル親善協会委託事業管理
- ・協会管理